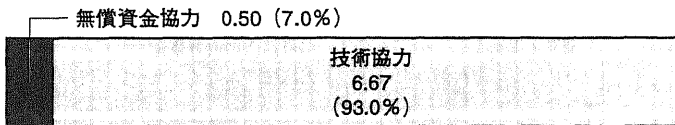


(予算年度)

		1997年度	1997年度までの累計
わが国のODA	無償資金協力 (億円)	0.50	6.67
	有償資金協力 (億円)	219.89	219.89
JICAの技術協力実績	技術協力経費 (億円)	6.93	26.36
	研修員受入 (人)	50(新規)+6(継続)	313
	専門家派遣 (人)	14(新規)+5(継続)	42
	調査団派遣 (人)	63(新規)+0(継続)	218
	協力隊派遣 (人)	8(新規)+0(継続)	8
	機材供与 (100万円)	170.51	383
	単独機材供与 (100万円)	102.74	206.86
	開発調査 (件)	3	11
プロジェクト方式技術協力 (件)	1	1	

わが国の対ルーマニアODA (1997年暦年支出純額ベース、単位：億円)



● 計画・行政分野 ●

機材供与事業

案件名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供与先	供与形態	関連事業
大気汚染対策用機材	一式	8,211	環境保護省ピアトラ・ネアムツ環境保護庁	一般単独機材	研修員受入

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
ブラホバ川流域水環境管理計画	ブラホバ川流域は、原油が採掘されるため、石油化学工場と石油精製工場をはじめとして、機械、食品加工などの多数の工場が立地しており、ルーマニアでも有数の工業地域であるが、処理施設は未整備である。そのため、石油精製工場からの廃油は、工場では何ら処理されずにブラホバ川に排出されている。また、他の工場からも多量のリン酸、フッ素、重金属などを含んだ廃水が未処理のまま放流されている。さらに養豚場や都市排水などの多岐にわたる汚染源があり、同河川と地下水の汚染が進み、将来の環境・健康への悪影響が非常に憂慮されている。本件は、ブラホバ川流域約3470km ² を対象に、水環境管理計画に関するマスタープランを策定することを目的とするものである。1997年度は、既存資料の収集、整理、不足しているデータなどの収集を行い、調査対象地域の現状を把握したうえで、汚濁メカニズムの把握・解析、水質予測モデルの開発、汚濁源のインベントリー作成などを実施	森林環境保護省	(株)建設技術研究所 セントラルコンサルタント(株)

	した。また、現地踏査を通じて、河川現況、水利用の実態などを把握した。	
--	------------------------------------	--

● 公共・公益事業分野 ●

機材供与事業

案 件 名	数量	経費 (千円) (支出済み額)	供 与 先	供与形態	関連事業
上水道漏水監視用機材	一式	2,554	公共事業省ガラチ市水管理 公社	小規模単独機材	研修員受入

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調 査団受入先	調 査 業 務 受注企業名
ブカレスト総合都市交通計画	ルーマニア政府の要請に基づき、ブカレスト市の交通混雑の緩和に資するため、2015年を目標年次とする総合都市交通計画（マスタープラン）を作成するとともに、緊急性の高いプロジェクトについて短期改善計画調査を実施する。1997年度は、本格調査の内容策定を目的として事前調査を実施し、実施細則に署名・交換した。	公共事業省	

● 農林・水産分野 ●

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績				
	年度	形 態		専門家派遣 (人)	カウンターパート受入(人)	機材供与(千円)	
灌漑システム改善計画 (当初R/D協力期間) 96.3.1～2001.2.28	94	事前調査	96年度までの 累 計		9	0	31,019
			97年度	新規	6	0	51,539
	95	長期調査 実施協議		97年度	継続	5	
			97				計画打合せ

〈要請背景〉

ルーマニアの年間降水量は550～600mmと少なく、特に6～8月の夏期は降雨がまったくないときもあり、旧体制時から灌漑に対する意識が高い。しかし革命後の経済状況の悪化から、導入された灌漑施設・装置は更新がままならず老朽化が進み、灌漑効率が悪化している。また、1991年に発効した土地私有法により農地の分散所有が進められているが、個々の私有地農家の経営基盤が確立していないために灌漑利用者が少なく、小灌漑面積が散在している非効率的な状況にある。そのため、灌漑システムのハード・ソフト両面での改善を行うことが急務となっている。

〈目標と期待される成果〉

- ①基礎揚水機場から開水路を通じて加圧機場までの区間の効率が改善される。 ②加圧機場から散水器を稼働させる末端の配水バルブまでの区間の効率が改善される。 ③散水支管から灌漑水が作物根に吸収されて消化されるまでの区間の効率が改善される。 ④情報システムの改善がなされる。 ⑤研修を通じての普及がなされる。

〈協力活動内容〉

- ①調査研究により数値的かつ具体的に低効率の現状を明らかにする。 ②効率改善方法を提案し実証する。
③実用性が確認された方法をマニュアルなどに編集する。 ④普及のためのパイロット事業と研修を行う。

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
南部森林保全計画	立ち枯れ現象が発生しているルーマニア南部のルーマニア平原のうち、特に被害の甚大なオルト、ドルジュの2県の森林を対象として森林劣化状況の評価を行い、森林復旧計画策定のフィージビリティ調査を実施する。1997年度は、本格調査を開始し、対象地概況調査を行うとともに、進捗報告書を作成した。	水利森林環境保護省 国家森林管理庁	助林業土木コンサルタンツ 株パスコインターナショナル

● 保健医療分野 ●

機材供与事業

案件名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供与先	供与形態	関連事業
循環器病診断治療用機材	一式	91,980	保健省フロレスカ救急病院	一般単独機材	研修員受入

スロヴァキア

(予算年度)

		1997年度	1997年度までの累計	
わが国のODA	無償資金協力 (億円)	0.42	1.38	
	有償資金協力 (億円)	0	0	
JICAの技術協力実績	技術協力経費 (億円)	0.84	4.00	
	形態別	研修員受入 (人)	33(新規)+0(継続)	178
		専門家派遣 (人)	1(新規)+0(継続)	8
		調査団派遣 (人)	13(新規)+0(継続)	18
		協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
		機材供与 (100万円)	0	9
	単独機材供与 (100万円)	0	0	
開発調査 (件)	1	3		
プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0		

わが国の対スロヴァキアODA (1997年暦年支出純額ベース、単位：億円)

無償資金協力 0.47 (23.6%)	技術協力 1.52 (76.4%)
---------------------------	-------------------------

● 計画・行政分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
フロン川流域地域環境管理計画	フロン川流域では、地域によって汚染の状況が異なり、上流部では製鉄、化学、重工業などの産業廃棄物による汚染、中流部ではセメント、薬品、製紙、生活廃棄物などによる汚染、さらに、下流部では工業	環境省	株パシフィック コンサルタンツ インターナショナル

スロヴァキア ● ヨーロッパ等

<p>に起因する硫黄分などによる地下水や土壌の汚染が発生し、アルミ工場や原子力発電所による汚染も懸念されている。</p> <p>本件は、フロン川流域の全般的な汚染実態の把握、地理情報システム（GIS）を用いた情報整備、ならびにこれに基づく地域環境管理計画の策定を行うものである。1997年度は、11月に事前調査を実施し、実施細則の署名・交換を行った。次いで、3月より本格調査を開始し、既存資料の収集・整理・検討を行い、調査の基本方針、調査方法、技術移転計画、調査団およびスロヴァキア側の作業計画を検討し、その結果を着手報告書に取りまとめた。</p>	<p>応用地質味</p>
--	--------------

スロヴェニア

(予算年度)

		1997年度	1997年度までの累計
わが国のODA	無償資金協力 (億円)	0	0
	有償資金協力 (億円)	0	0
JICAの技術協力実績	技術協力経費 (億円)	0.38	2.56
	形態別		
	研修員受入 (人)	9 (新規) + 0 (継続)	44
	専門家派遣 (人)	2 (新規) + 0 (継続)	3
	調査団派遣 (人)	0 (新規) + 0 (継続)	40
	協力隊派遣 (人)	0 (新規) + 0 (継続)	0
	機材供与 (100万円)	1.06	1
	単独機材供与 (100万円)	0	0
	開発調査 (件)	0	2
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0

わが国の対スロヴェニアODA (1997年暦年支出純額ベース、単位：億円)

<p>技術協力 1.19 (100%)</p>

タジキスタン

(予算年度)

		1997年度	1997年度までの累計	
わが国のODA	無償資金協力 (億円)	0.09	0.19	
	有償資金協力 (億円)	0	0	
JICAの技術協力実績	技術協力経費 (億円)	0.33	1.60	
	形態別	研修員受入 (人)	22(新規)+0(継続)	96
		専門家派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
		調査団派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
		協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
		機材供与 (100万円)	0	0
	単独機材供与 (100万円)	0	0	
	開発調査 (件)	0	0	
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0	

わが国の対タジキスタンODA (1997年暦年支出純額ベース、単位：億円)

無償資金協力 0.10 (26.3%)	技術協力 0.28 (73.7%)
---------------------------	-------------------------

トルクメニスタン

(予算年度)

		1997年度	1997年度までの累計	
わが国のODA	無償資金協力 (億円)	0	5.55	
	有償資金協力 (億円)	45.05	45.05	
JICAの技術協力実績	技術協力経費 (億円)	0.14	2.09	
	形態別	研修員受入 (人)	12(新規)+0(継続)	92
		専門家派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
		調査団派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	19
		協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
		機材供与 (100万円)	0	0
	単独機材供与 (100万円)	0	0	
	開発調査 (件)	0	1	
	プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0	

わが国の対トルクメニスタンODA (1997年暦年支出純額ベース、単位：億円)

無償資金協力 0.29 (30.2%)	技術協力 0.67 (69.8%)
---------------------------	-------------------------

ウクライナ

(予算年度)

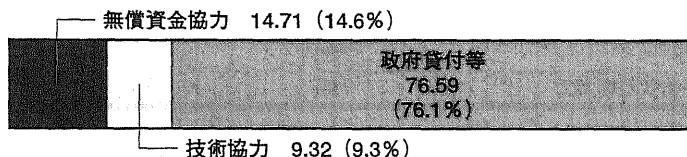
		1997年度	1997年度までの累計	
わが国のODA	無償資金協力 (億円)	0	0	
	有償資金協力 (億円)	0	0	
JICAの技術協力実績	技術協力経費 (億円)	0.04	0.04	
	形態別	研修員受入 (人)	3(新規)+0(継続)	3
		専門家派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
		調査団派遣 (人)	5(新規)+0(継続)	5
		協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
		機材供与 (100万円)	0	0
	単独機材供与 (100万円)	0	0	
	開発調査 (件)	0	0	
プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0		

ウズベキスタン

(予算年度)

		1997年度	1997年度までの累計	
わが国のODA	無償資金協力 (億円)	11.28	48.29	
	有償資金協力 (億円)	0	343.28	
JICAの技術協力実績	技術協力経費 (億円)	5.81	20.81	
	形態別	研修員受入 (人)	32(新規)+0(継続)	127
		専門家派遣 (人)	22(新規)+0(継続)	29
		調査団派遣 (人)	91(新規)+4(継続)	265
		協力隊派遣 (人)	0(新規)+0(継続)	0
		機材供与 (100万円)	17.47	39
	単独機材供与 (100万円)	0	0	
	開発調査 (件)	3	4	
プロジェクト方式技術協力 (件)	0	0		

わが国の対ウズベキスタンODA (1997年暦年支出純額ベース、単位：億円)



● 公共・公益事業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
電気機関車修理工場建設計画	現在、電気機関車の日常的修理はタシケント市に位置するウズベキスタン機関区の修理場で行われているが、必要なオーバーホールには対応できない状態である。本件は、ウズベキスタン政府の要請に基づき、将	ウズベキスタン鉄道	(社)海外鉄道技術協力協会 日本交通技術株式会社/パシフィック

	<p>来の電気機関車修理の増加に対応するため、電気機関車の修理工場建設のフィージビリティ調査を実施するものである。1997年度は、96年度に引き続き実施調査を行い、これまでの調査結果を最終報告書案としてまとめ、ウズベキスタン側に説明・協議するとともにワークショップを実施した。次いで、ウズベキスタン側からのコメントを踏まえ、最終報告書として取りまとめ、提出した。</p>		<p>コンサルタンツ インターナショナル</p>
航空輸送改善総合開発計画	<p>ウズベキスタン政府の要請に基づき、航空輸送改善総合開発計画のマスタープランを策定するとともに、優先整備計画のプレ・フィージビリティ調査を行う。また、国营航空会社について経営改善の提言を行う。1997年度は、2回にわたる現地調査を実施するとともに、進捗報告書、中間報告書をまとめ、ウズベキスタン側との協議、現地セミナーを経て、最終報告書案を作成した。</p>	ウズベキスタン 航空	株日本空港コン サルタンツ

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業 (JICA 担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
食糧増産援助	農業省	(株)日本国際協力 システム	97	4.00	97.9.5		98.3 (実)
<p>ウズベキスタンは、1991年12月のソ連邦崩壊後に独立した国である。同国は独立以後、カリモフ大統領の強力な指導のもとに、安定した政権基盤を維持しており、中央アジア諸国のリーダー的地位を確立しつつある。しかしながら、旧ソ連邦時代の綿花生産のモノカルチャー産業から脱却し健全な市場経済に移行するためには、いまだ経済的に種々の困難がある。主要食糧のひとつである米についても、綿花生産からの転換を進めているものの、その生産量は順調な年で需要量の約7割といわれ、また95年の収穫量は計画の約5割であった。このため、現在の米の耕作面積を約2倍に、また単位面積当たりの収穫量を約3割向上させ、早急に自給を達成する目標が掲げられている。こうした状況のもと、ウズベキスタン政府は米の増産のための農業機械の購入に必要な資金について、わが国に対し無償資金協力を要請してきた。</p>							

● 鉱工業分野 ●

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調 査団受入先	調査業務 受注企業名
南ヌラタウ地域市場経済移行国支援資源開発調査	<p>ウズベキスタンは、金のほかにも多くの鉱物資源に恵まれており、同国にとって鉱物資源の輸出は外貨獲得の重要な手段となっている。このため、鉱物資源開発は同国の国家政策のひとつとなっており、特に金開発は最優先課題とされている。本件は、有望な鉱床の詳細調査を行い、その可能性を把握、検討するものである。1997年度は、衛星画像解析、既存データ解析、地質調査およびボーリング調査を実施した。衛星画像解析などをもとに鉱微地調査を行ったところ、金・銀石英脈タイプの鉱床、鉱微地が多数分布していることを確認した。</p>	国家地質委員会	三井金属資源開発 株式会社

● 保健医療分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・簡易 機材案件調査	実施促進・ フォローアップ
中部地域母子病院医療機材 整備計画	保健省	ピンコー株式会社 システム科学コ ンサルタンツ株式会社	97	6.76	98.3.6	97.9 (本) 97.12 (報)	
<p>医療改革政策の一環である「母子保健向上計画」による出産適齢期の女性の健康回復緊急対策推進のため、母子保健医療の上位レファラル施設に位置づけられている5カ所の中核病院（サマルカンド州、ナボイ州）に対して医療機材の供与を行う。</p>							